

# TOPICS

## 平成15年の奈良県民の旅券発行は全国を上回る減少率

外務省が公表した「旅券統計（平成15年1月～12月）」によると、平成15年に奈良県で発行した一般旅券発行数は33,805件となり、前年に比べ16,751件減少した。減少率は33.1%で全国平均の27.4%を大きく上回った。

また、有効旅券保有者は453,502人、旅券保有率は31%で、県民の約3人に1人が旅券を保有している。

### 一般旅券発行件数の推移

平成15年の1年間に全国で発行された一般旅券（全発行数から公用旅券を減じたもの）は2,752,539件となり1年前に比べ27.4%の減少となった。

一方、奈良県で発行された一般旅券は33,805件で前年比では33.1%の減少となり全国平均を上回る減少率となった。

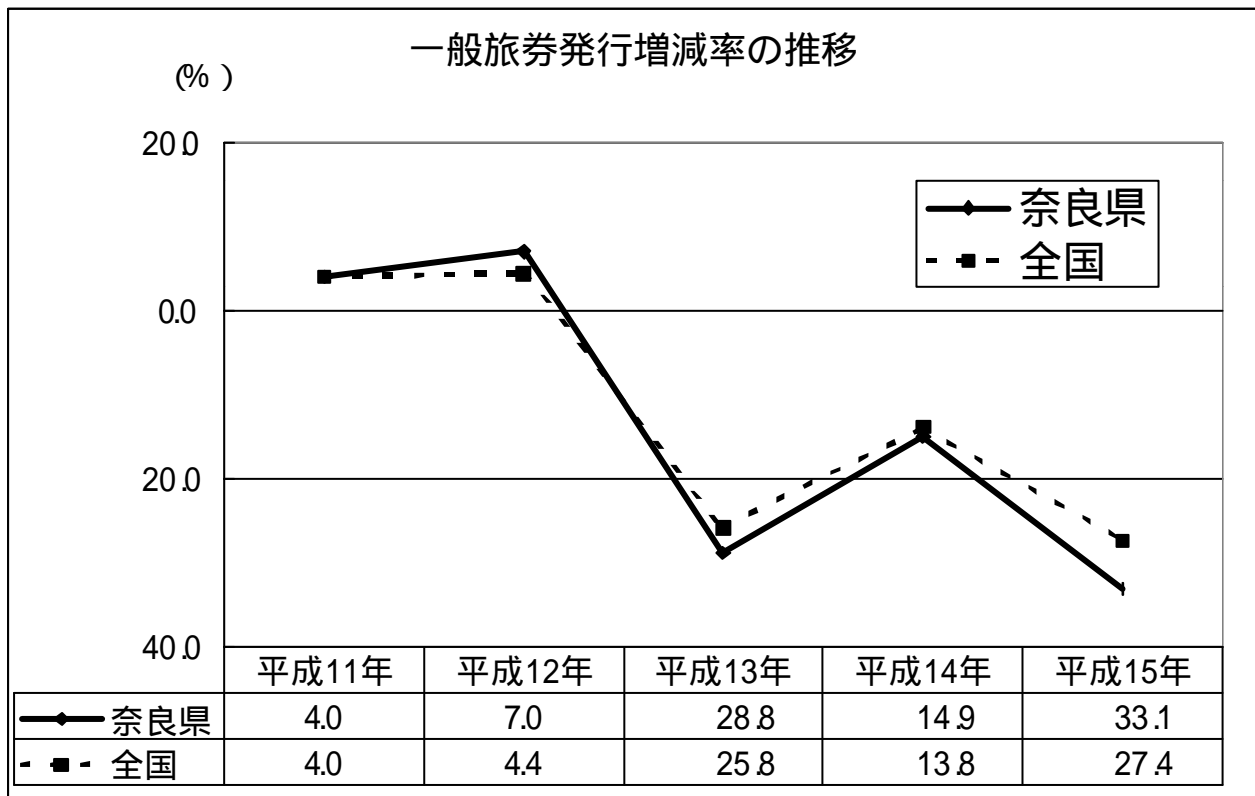
発行件数を都道府県別にみると、奈良県は全国21位であるが、人口100人あたりの発行件数は2.34人で全国7位である。ただし昨年は3位であり、平成15年はやや順位を下げている。

過去5年間の一般旅券発行数の推移は以下の

グラフに示すとおりであるが、総じて減少傾向にある。

この原因としては、平成7年11月より「10年有効旅券」が発行されたことで、保有期間が伸びたこと。米国での同時多発テロ（平成13年9月）や新型肺炎（重症急性呼吸器症候群 = SARS）の流行（平成15年2月以降）、イラク戦争（平成15年3月）の影響による海外渡航への不安感が強まったことなどがあげられる。

また、奈良県においては上記の理由以外に県内の旅券保有率が相対的に高いことがあり、これが全国より高い減少率となった原因と考えられる。



### 有効旅券所有者数

奈良県での有効旅券所有者は 453,502 人（平成 15 年 12 月 26 日現在）で人口比では 31% を占める。すなわち県民の約 3 人に 1 人が旅券を所有している計算になる。

なお、全国平均の 26% を大きく上回り、順位は東京都、神奈川県、千葉県について第 4 位となっている。

### 一般旅券の有効期間別発行件数

奈良県の一般旅券の発行を有効期間別にみると、10 年有効旅券は 16,872 件（49.9%）、5 年有効旅券が 16,933 件（50.1%）となり、5 年有効旅券のほうがやや上回っている。

一方、全国は 5 年が 48.3%、10 年が 51.6% となっており、奈良県は、全国とはやや違った傾向を示している。

### 年齢別発行状況

旅券の発行申請者を年齢別にみたものが以下のグラフである。

最も多い層は 20 代の 31.8% であり、以下 19 歳以下の 22.1%、30 代の 14.1%、50 代の 12.8% と続いている。

全国の構成比と比較するとほぼ同じ傾向がみられる。

### その他

奈良県での旅券申請・交付場所は奈良市西大寺と大和高田市の 2 か所である。

奈良県では旅券交付時間を平成 14 年 4 月から 1 時間延長し、19 時 30 分までとしているが、平成 15 年に交付された旅券のうち延長時間帯（1 時間）での交付率は 27.5% にものぼる。

旅券は必ず申請者に、申請した場所でしか交付されない。また、土日、祝祭日、年末年始の休日は業務が休みである。

したがって、サラリーマン等平日に休みがとれない者にとっては仕事帰りでの受取りが多くなっているものと考えられる。

ただ、奈良県は県外就業率が全国第 1 位であることが示すとおり、大阪を中心とした他府県での就業者が多い。したがって、終業後交付地までの所要時間が比較的多くかかる。

奈良県民にとっては、今後、交付時間のさらなる延長や休日業務の開始が望まれよう。

年齢階層別にみた旅券発行状況（平成15年）

